

**2015年3月期 第3四半期 決算 要旨**
**連結損益計算書 (要約)**

(億円)	2014年3月期		2015年3月期				
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	前年 同期比	10/31修正 通期計画	2/12修正 通期計画	前期比
売上高	3,039	3,780	2,675	-12%	3,700	3,525	-7%
営業利益	465	385	162	-65%	180	160	-58%
経常利益	491	405	162	-67%	170	150	-63%
税引前当期純利益	636	475	115	-82%	127	10	-98%
当期純利益	443	307	-0	-	40	-130	-
1株当たり配当(円)	-	40	-	-	40	40	-
1株当たり当期純利益(円)	182.53	126.42	-0.10	-	16.40	-53.25	-
1株当たり純資産(円)	1,453.40	1,409.27	1,396.48	-	-	-	-

**<第3四半期実績>**

- 前年同期比で減収、減益
- 2/12に通期業績予想を修正

**各種費用等の実績**

(億円)	2014年3月期		2015年3月期				
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	前年 同期比	10/31修正 通期計画	2/12修正 通期計画	前期比
研究開発費・コンテンツ制作費	407	592	488	+20%	672	640	+8%
設備投資額	293	381	205	-30%	333	287	-25%
減価償却費	114	161	128	+12%	183	175	+9%
広告宣伝費	114	160	145	+27%	220	200	+25%

**連結貸借対照表 (要約)**

(億円)	【資産の部】			【負債・純資産の部】			
	科目	前期末	第3四半期末	増減	科目	前期末	第3四半期末
流動資産	3,184	3,316	+132	流動負債	910	939	+29
固定資産	2,244	2,342	+98	固定負債	1,035	1,252	+217
				負債合計	1,946	2,192	+246
				純資産合計	3,482	3,466	-16
資産合計	5,429	5,658	+229	負債及び純資産合計	5,429	5,658	+229

  

科目	前期末	第3四半期末	増減
自己資本比率	63.2%	60.3%	-2.9pt
流動比率	349.7%	353.0%	+3.3pt

- 流動資産：現金預金、売上債権及び有価証券(短期資金運用)の増加等により、132億円増加
- 固定資産：投資有価証券や有形固定資産の増加等により、98億円増加
- 固定負債：社債の発行等により217億円増加 ⇒ 総資産：229億円増加の5,658億円
- 自己資本比率：2.9ポイント下落の60.3%
- 流動比率：3.3ポイント上昇の353.0%

**遊技機事業**

(億円)	2014年3月期		2015年3月期				
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	前年 同期比	10/31修正 通期計画	2/12修正 通期計画	前期比
売上高	1,602	1,818	1,153	-28%	1,585	1,490	-18%
内訳							
パチスロ	1,071	1,127	446	-58%	755	737	-35%
パチンコ	493	635	697	+41%	820	740	+17%
その他	38	56	10	-74%	10	13	-77%
営業利益	500	452	206	-59%	250	250	-45%
営業利益率	31.2%	24.9%	17.9%	-13.3pt	15.8%	16.8%	-8.1pt
パチスロ販売台数(台)	286,396	301,575	130,191	-55%	222,998	207,000	-31%
パチンコ販売台数(台)	156,538	200,225	225,783	+44%	267,453	242,000	+21%

**<第3四半期実績>**

- パチンコの販売が堅調の一方で、パチスロの販売タイトル数が少ないため、前年同期比で、減収、減益

**<通期見通し>**
**【全体】**

- パチスロタイトル数が前期比で減少したため、減収、減益を計画
- 2/12通期見通しを修正  
⇒前回予想(10/31付)と比べ、販売台数減少に伴い売上は減少するものの、営業利益は前回予想通りの見通し

**【パチスロ】**

- 3Q販売の『**サラリーマン金太郎 出世回胴編**』の継続出荷及び主カタイトル『**パチスロ アラジンAII**』を投入
- 4Qの主な販売タイトル  
⇒サミー『**パチスロ アラジンAII**』(2月)等

**【パチンコ】**

- 複数タイトルの投入を予定
- 4Qの主な販売タイトル  
⇒サミー『**ぱちんこCRハクション大魔王**』シリーズ(3月)等

### アミューズメント機器事業

(億円)		2014年3月期		2015年3月期				
		第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	前年 同期比	10/31修正 通期計画	2/12修正 通期計画	前期比
売上高		280	386	289	+3%	400	390	+1%
内 訳	国内	239	326	234	-2%	-	-	-
	海外	41	60	55	+34%	-	-	-
営業利益		-2	-12	4	-	-23	-16	-
営業利益率		-	-	1.4%	-	-	-	-

※販売実績は、カード等の消耗品販売及びレベニューシェアタイトルによる配分収益などを含む

#### <第3四半期実績>

- 研究開発費等の営業費用の期ずれにより、黒字転換

#### <通期見通し>

- 新作タイトルの販売不振等により前期比で損失幅拡大を見込む
- 4Qに投入する新作は1タイトルのみ
- レベニューシェアタイトルによる配分収益を見込む  
⇒新タイトル『Wonderland Wars』

### アミューズメント施設事業

(億円)		2014年3月期		2015年3月期				
		第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	前年 同期比	10/31修正 通期計画	2/12修正 通期計画	前期比
売上高		324	432	309	-5%	410	410	-5%
営業利益		-0	0	-5	-	-8	-8	-
営業利益率		-	-	-	-	-	-	-
国内AM施設既存店舗売上高前年比		94.9%	96.1%	100.1%	-	97.7%	99.1%	-
国内AM施設数		203店舗	198店舗	198店舗	-	198店舗	199店舗	-
海外AM施設数		2店舗	2店舗	2店舗	-	2店舗	2店舗	-

#### <第3四半期実績>

- 既存店の売上は堅調に推移したものの、消費税増税の影響により、前年同期比で減収、損失幅拡大

#### <通期見通し>

- 投資の絞り込み、店舗運営の効率化等により収益性の改善に努める
- 国内既存店舗売上高前年比: 通期見通し 99.1%
- 国内AM施設数: 当期末 199店舗 (出店5、閉店4)
- 店舗ポートフォリオの見直しとファミリー向け店舗や飲食併設型店舗の開発、出店

**コンシューマ事業**

(億円)	2014年3月期		2015年3月期				
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	前年 同期比	10/31修正 通期計画	2/12修正 通期計画	前期比
<b>売上高</b>	<b>723</b>	<b>998</b>	<b>821</b>	<b>+14%</b>	<b>1,165</b>	<b>1,100</b>	<b>+10%</b>
内訳							
パッケージ (ゲームコンテンツ)	284	389	320	+13%	457	438	+13%
デジタル (ゲームコンテンツ)	283	400	337	+19%	473	444	+11%
玩具	74	84	56	-24%	69	62	-26%
アニメーション	83	121	99	+19%	145	139	+15%
その他/消去等	-1	4	9	-	21	17	+325%
<b>営業利益</b>	<b>27</b>	<b>20</b>	<b>22</b>	<b>-19%</b>	<b>50</b>	<b>27</b>	<b>+35%</b>
営業利益率	3.7%	2.0%	2.7%	-1.0pt	4.3%	2.5%	+0.5pt
<b>パッケージ販売本数 (万本)</b>	<b>631</b>	<b>873</b>	<b>890</b>	<b>+41%</b>	<b>1,104</b>	<b>1,106</b>	<b>+27%</b>

**<第3四半期実績>**

- 主力タイトルの他、既存タイトルの好調により、デジタルゲーム分野全体では堅調に推移
- デジタルゲーム分野が堅調に推移した一方で、パッケージゲーム分野、玩具販売事業が低調に推移したため前年同期比で増収、減益

**<通期見通し>**
**【全体】**

- パッケージゲーム分野の低調等により、2014年10月31日付の通期見通しから修正

**【パッケージ】**

- 新作タイトルの販売が低調に推移する見込み
- 4Q発売予定の主なタイトル:  
国内『龍が如く0 誓いの場所』等

**【デジタル】**

- 新作タイトルの投入時期を、戦略的に来期へ変更した影響や、海外オンラインゲームのライセンス収入計上時期が翌期になったことに加え、携帯電話・PC向けパチンコ・パチスロゲームサイトのサービスが低調に推移する見通し
- 国内スマートフォン向けの新作タイトルを複数投入予定  
⇒ 『大乱闘!!ドラゴンパレード』等
- 国内スマートフォン向けの新作タイトルをアジア展開

**【玩具】**

- 定番商品の販売を実施するものの、玩具販売事業全体は低調に推移する見通し

**【アニメーション】**

- TVシリーズ『弱虫ペダル』のライセンス収入、物販収入が引き続き堅調に推移する見通し

## グループ構造改革の取組み

- 「グループ構造改革本部」を設置（2014年5月9日付）
  - ・本部長： 会長兼社長 里見 治
  - ・副本部長： 取締役 菅野 暁
- グループ構造改革に関する方針発表（2014年10月31日付）
  - ・3事業グループへの再編
  - ・固定費削減目標の設定
  - ・セガにおける構造改革担当役員の選任
- セガにおける構造改革の実施（2015年1月30日付）
  - ・国内における事業の効率化
  - ・希望退職者の募集
  - ・海外における事業の効率化
- グループ再編の実施（2015年2月12日付）
  - ・2015年4月1日付で、グループ内の子会社再編を実施
  - ・更なる事業再編を進めるための施策として、グループ内組織の再編を決定

※本資料における業績見通し等の内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、経営者が判断したものであります。従って、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを予めご承知おき下さい。